

## 学長のコラム

### 本学の北に見える建設中の橋について

本学の北の方の谷間に大きな橋が作られているのを見えますね。西回りバイパス、正式には熊本西環状線（花園工区）もしくは、一般県道砂原四方寄線といい、北区碓川町から西区花園 7 丁目までの 4.1km の区間の工事の一部で、平成 29 年 3 月に開通予定という。医学検査学科特任教授の廣瀬英治先生が、ご興味を持たれ、橋を専門とする小生に研究者らしい鋭い質問をされたこともあって、少し解説しようと思う。さて、皆様、この橋がどのようにして作られているか興味を持ったことがありますか？ディビダーク（Dywidag）工法というドイツがパテントを持っていた工法で、日本語では、現場打ち片持ち式工法とも言われます。橋脚または橋台から、移動式の型枠（作業車）を使用してコンクリートを打設し、長さ 3～5m 程度の橋桁のブロックを作ります。3 週間程度養生して、所定の強さに達したら、コンクリート内に埋め込んだ鋼棒を緊張してこのブロックを基部にボルトで結合し、支間（またぐ区間）中央に向かって張り出して行き、もう一方から伸びてきた橋桁と支間中央で結合します。通常、橋脚の左右両側にバランスを取りながら伸長するのでヤジロベエ工法とも呼ばれます。コンクリートは、固まって強さを発揮するまで 4 週間程度かかるので、それまで形を保持するための型枠とそれを支える支保工という支えが必要ですが、深い谷や交通量の多い道路をまたぐ高架橋をつくる時は、下から支える支保工が設置できないか、費用がかかりすぎるので、支保工が不要で経済的なこのディビダーク工法がもっぱら用いられてきました。天草 3 号橋、4 号橋もこの方式でした。国道 3 号線四方寄にインターチェンジができるようですから、開通したら、橋上から本学がどのように見えるのか車で走ってみるのを楽しみにしています。



左側は繋がり、右側はまだ繋がっていない（2015 年 6 月 12 日撮影）

## 7 月・8 月の主な行事予定

7 月 1 日（水）～	脳卒中リハビリテーション看護分野 2 次募集 出願期間（～15 日）
5 日（日）	進学ガイダンスセミナー2015 熊本学園大学
15 日（水）	助産学実習指導責任者会議
18 日（土）	大学院修士論文中間発表会、全国高等学校クイズ選手権南九州大会（本学グラウンド）
19 日（日）	第 1 回オープンキャンパス
22 日（水）	第 2 回健康づくり教室
25 日（土）	脳卒中リハビリテーション看護分野入学試験 →合格発表 7 月 31 日（金）
31 日（金）	助産別科・臨地実習適格認定書授与式
8 月 3 日（月）	熊本県私学教育研修会一斉研修 理科部会
12 日（水）	職員夏期休暇（～18 日）
23 日（日）	第 2 回オープンキャンパス
26 日（水）	第 1 回 FD セミナー
30 日（日）	チャレンジ熊本大！推薦入試対策講座

\*

## 進路指導者向け進学説明会

6 月 30 日（火）に進路指導者向け進学説明会を行いました。



60 校 70 名の進路指導者の方々にお越しいただきました。本学及び入試の概要説明の他、崎元学長による公開講座「橋のお話」や、希望者を対象とした校舎見学会を行いました。

## 九州インカレ壮行会・クラブ顧問委嘱状交付式

6 月 17 日（水）の昼休み、第 65 回九州地区大学体育大会（九州インカレ）壮行会が開催されました。本学から参加する夏大会競技は、バレーボール（男女）・バスケットボール（男女）・サッカー（男子）・バドミントン（男女）です。崎元学長から、時には相手や自分の調子に合わせて『負けない為の戦い』を繰り広げるのも大事な作戦であるが、日ごろの練習の成果を発揮し大学生らしく精一杯全力で戦ってくるよう激励の言葉を頂戴しました。参加クラブみなさんの健闘を祈ります。壮行会の後、今年度クラブやサークルとして活動する全ての団体顧問への委嘱状交付式を行いました。クラブ活動等を通じ多くの友人を作り、充実した大学生活を送ってくれることを期待しています。（文責：学務課）



## 学友会球技大会

6月20日(土)、恒例の学友会主催球技大会がスポーツ熊本で開催されました。当日は、教職員2チームを含め、約180名が参加しました。今年は崎元学長にも参加いただき、学生たちが崎元学長のストライクと一緒に喜ぶ姿も見られました。また、「学年学科を超えて交流を持てほしい」という学友会役員の言葉通り、隣のレーンの学生同士、楽しく交流する姿も見られ、とても盛り上がった会となりました。

(文責：学務課)



## 2015 五島長崎国際トライアスロン大会 3位入賞!

我々トライアスリートクラブは、6月14日(日)に長崎県五島列島五島市で開催された2015五島長崎国際トライアスロン大会のスイム3.8km、バイク180.2km、ラン42.2kmをそれぞれ3人1組のリレー形式で行うレースに参加し、熊本大Aチームが12時間41分11秒の総合第3位で入賞、熊本大Bチームが12時間59分35秒の総合5位でゴールしました。ちなみに全種目を一人で行うレースに出場した顧問の松原先生・鍋木先生は、それぞれ14時間54分46秒、14時間00分46秒で無事完走できました。チームの中で役割を果たす大切さと皆さんへの感謝をかみしめることができた貴重な経験でした。(文責：トライアスリートクラブ)



## 言語聴覚学専攻 就職説明会・実習指導者会議

6月13日(土)本学にて、リハビリテーション学科言語聴覚学専攻の就職説明会と実習指導者会議を開催いたしました。はじめの就職説明会では、言語聴覚学専攻4年生全員が参加し、情報を積極的に収集していました。また、その後の実習指導者会議では、これから実習でご指導いただく施設の先生方と実習に関する意見交換や、学生たちとの面談が行われました。当日は49施設52名の実習指導の先生方にお集まりいただきました。ご参加いただいた先生方、本当にありがとうございました。

(文責：就職支援センター・実習支援センター)



## 第42回熊本県私立大学協会親善ボウリング大会

6月27日(土)にスポーツ熊本において、熊本県私立大学協会親善ボウリング大会が開催され、本学から選手として崎元学長、土井PT専攻長、齊藤事務局長、河瀬総務部長、今村総務部次長、久保田さん(就職支援C)、小村さん(入試広報課)の7名が参加しました。団体戦では、9大学中7位という結果でした。今年は本学が県私大協の幹事校ということで、企画課、総務課のスタッフがその後の懇親会と併せて準備・運営を担当しました。抜かり無い行き届いた運営であったとの声があちこちで聞かれました。お疲れ様でした!



## 私の秘話ヒストリー

今回は、杉内学科長に投稿していただきました。

50才頃から高所恐怖症に悩まされるようになった。とにかく高い位置に立つと全身の毛が逆立つ思いがする。飛行機は最も恐怖であるがやむをえない場合は必ず通路側で地上は絶対に見ない、ホテルの5F以上でも部屋に入るとすぐ窓のカーテンを閉めて窓の近くには近寄らない、橋を渡るときも一休咄のように両端は通らない、車で橋を渡るときも加速して一気に突っ切る、といった具合である。大阪のUSJに何回か行ったことがある。アトラクションの一つに「バック・トゥ・ザ・フューチャー」というのがある(現在はスパイダーマン)。入り口に心臓疾患の人や高所・暗所・閉所恐怖症の人は利用できない、という恐怖を誘う看板が…。友達に誘われるままに部屋に入ると、デロリアン号という車型タイムマシンがおりてあり、それに乗車すると部屋が暗くなり、車が激しく揺れながら、空に飛び上がり野や山を越え、飛んでゆく。約10分の体験であるが、これには死ぬほど恐怖を覚えた。しかし、これには仕掛けがあり、タイムマシンは部屋の中央に固定されており空を飛ぶわけではない、左右、上下に揺れるだけであり、正面の壁全体が大型スクリーンでそこに空を飛ぶ動画が映し出されるだけである。錯覚と知ってしまえば何のことはないが…。高いところをとっさに怖いと感じるのは、死を防ぐための防御反応として脳に組み込まれている大切な機能である。fMRIで高さを感じるリアルな写真を見せると脳の一部が活発に反応し、血中のアドレナリン濃度が高くなるという。今度、本学にはMRIがあるので詳細に検査をしてみようと思う今日この頃である。(文責：杉内学科長)